

令和 2 年度・令和 3 年度

本庄早稲田の杜ミュージアム自己点検評価報告書

本庄早稲田の杜ミュージアム自己点検評価報告書は、自己点検評価（一次評価）を行い、さらに本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会による外部点検評価（二次評価）を行うことで、当館が抱える課題の改善を図るものです。

博物館法（抜粋）

（運営の状況に関する評価等）

第九条 博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第九条の二 博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

自己点検評価（一次評価）

本庄市総合振興計画（前期基本計画）、本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく評価に加え、本庄早稲田の杜ミュージアムのめざす姿に基づく評価を行いました。また、博物館に求められている機能について、客観的な評価を行うため、公益財団法人日本博物館協会の「博物館自己点検システム」を活用した評価を行いました。

なお、本庄市総合振興計画（前期基本計画）及び本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略は当館の開館前に策定された計画のため、各項目や目標値の設定に当館の事業が反映されていない場合があります。

本庄市総合振興計画（前期基本計画）に基づく評価

分野 | 教育文化分野

政策 | 未来を拓く人を育み、歴史と文化の薫るまち

政策大項目 | 文化財の保護と活用の推進

めざす姿 | ○文化財が大切に保護され、継承されています。

○文化財が学校教育や生涯学習の場で活用され、理解が深まっています。

○文化財が活用され、地域の活性化や本市の PR に貢献しています。

政策中項目 | 2 文化財施設等の充実と活用

塙保己一記念館、歴史民俗資料館、競進社模範蚕室等の文化財施設とともに郷土の偉人の功績を市内外に広く発信し、入館者の増加と地域の活性化を図ります。歴史的建造物である歴史民俗資料館と競進社模範蚕室については、建物の維持保全のために必要な対策を講じます。

5 地域文化の理解と普及

公民館との連携による歴史講座や、学校との連携による出前授業などを行い、地域文化の理解と普及を促進します。また、古い民具や農具に触れたり、実際に使ってみる機会を提供し、昔の生活への理解と郷土愛の醸成を図ります。

事業 | 本庄早稲田の杜ミュージアム管理運営事業

展示による地域の魅力発信のみならず、体感的な教育普及活動等を展開することで、地域文化の拠点となる事業を展開します。

成果指標 | 文化財施設等への入館者数

歴史民俗資料館・塙保己一記念館・競進社模範蚕室の入館者数の合計（年間）

※歴史民俗資料館は R2 年 2 月末日で閉館し、R2 年 10 月より本庄早稲田の杜ミュージアムへ移行

策定時 (H28) 13,110 人 → H29 11,389 人 → H30 12,163 人

R1 13,126 人（歴史民俗資料館 4,262 人・塙保己一記念館 6,377 人・競進社模範蚕室 2,487 人）

R2 15,844 人（本庄早稲田の杜ミュージアム 9,771 人・塙保己一記念館 4,291 人・競進社模範蚕室 1,782 人）

※塙保己一記念館と競進社模範蚕室は、新型コロナウイルス感染症拡大をうけ、令和 2 年 4 月 7 日から 6 月 15 日まで休館。本庄早稲田の杜ミュージアムは令和 2 年 10 月 15 日開館。

R3 26,863 人（本庄早稲田の杜ミュージアム 17,402 人・塙保己一記念館 6,936 人・競進社模範蚕室 2,525 人）

目標値 (R4) 15,000 人

実施状況 | ある程度できている

2 文化財施設等の充実と活用

令和 2 年 2 月までは歴史民俗資料館、10 月からは本庄早稲田の杜ミュージアム

を開館し、本市の歴史や文化について市内外により広く発信しました。また、塙保己一記念館では特別展示等の事業を実施し、競進社模範蚕室では大型バス駐車場、トイレや進入道路の周辺環境整備を行い来館者の増加を目指しました。

5 地域文化の理解と普及

令和2年度からは本庄早稲田の杜ミュージアムを開館し、市民総合大学と連携した講座開催や学校への出前授業を実施しました。また、学校の団体見学を展示施設等へ受け入れ、郷土の歴史や文化について学ぶ機会を提供しました。

本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく評価

分野 | 魅力創造

主要施策 | シティプロモーション

個別施策 | 文化財の保存活用啓発

具体的事業 | 文化財保存活用啓発事業

事業概要 | 本庄早稲田の杜ミュージアム、塙保己一記念館、競進社模範蚕室等の文化財施設とともに郷土の偉人の功績を市内外に広く発信し、来館者数の増加と地域の活性化を図ります。

重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H30) 12,163 人

R1 13,126 人 (歴史民俗資料館 4,262 人・塙保己一記念館 6,377 人・競進社模範蚕室 2,487 人)

R2 15,844 人 (本庄早稲田の杜ミュージアム 9,771 人・塙保己一記念館 4,291 人・競進社模範蚕室 1,782 人)

※塙保己一記念館と競進社模範蚕室は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、令和2年4月7日から6月15日まで休館。本庄早稲田の杜ミュージアムは令和2年10月15日開館。

R3 26,863 人 (本庄早稲田の杜ミュージアム 17,402 人・塙保己一記念館 6,936 人・競進社模範蚕室 2,525 人)

目標値 (R4) 23,000 人

事業の取組状況 | 本庄早稲田の杜ミュージアムでは、年間を通じてワークショップや講座、講演会等を開催しました。また、早稲田大学や周辺市町村と連携した企画展等を開催しました。塙保己一記念館では、塙保己一没後200周年記念事業として日本後記・蚕蠶抄の企画展示や塙保己一記念館・本庄早稲田の杜のミュージアム・競進社模範蚕室を含む5つの文化財施設を巡るスタンプラリーなど各種事業を実施しました。

KPIの達成状況 | 達成できた

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、団体の来館者は減少しましたが、本庄早稲田の杜ミュージアムや塙保己一記念館では企画展等の新規事業を実施することで、リピーターだけでなく初めての来館者も増え、3施設の来館者は26,863人を数えました。

事業の効果 | ある程度効果的であった

本庄早稲田の杜ミュージアムを中心に塙保己一記念館、競進社模範蚕室の3文化財施設において企画展等を開催し、事業連携を図ることで更なる文化財の魅力発信が期待できます。

今後の方向性 | 本庄早稲田の杜ミュージアムでは、引き続き企画展やワークショップ、講座等を開催し、ミュージアムの魅力を高め市内外からの来館者増加に努めます。埼玉ゆかりの3偉人で繋がる深谷市と熊谷市等と連携を図り、全国に塙保己一を

発信し、埴保己一記念館だけではなく市内への来訪者の増加を目指します。文化財の保存・活用の枠組みとなる文化財保存活用地域計画を作成し、まちづくりに活かしつつ、地域社会総がかりで保存・活用を図っていきます。

本庄早稲田の杜ミュージアムのめざす姿に基づく評価

／本庄早稲田の杜ミュージアムのめざす姿／

- 本庄市と早稲田大学が所蔵する考古資料等を活用した展示その他の教育普及活動を通じて、来館者が本庄市の歴史に親しみ、学ぶための拠点とする
- 周辺の文化財施設や学校、その他関連団体等との連携を図り、地域文化の中核施設としての役割を果たす

(評価区分)

A 十分できている B ある程度できている C あまりできていない
D できていない Z その他

／本庄早稲田の杜ミュージアムの取り組み／

- 1 市民共有の財産である考古資料等の調査、研究を行い、展示・教育・出版活動を通じて、市民の誰もが本庄市の長い歴史を身近に感じられる場とする

B ある程度できている

市民に当館を知ってもらい、来館するきっかけとなるよう、魅力的な企画展や家族で楽しめるワークショップの開催、生涯学習団体等との連携に努めました。来館者が本市の文化財や歴史を、より身近に、より生き生きと感じられるものとなるよう、今後も事業の充実を図ります。

- 2 学校教育と連携を図り、学習目的に対応した見学・体験プログラムを提供することで、児童・生徒の歴史学習と拠点となる

B ある程度できている

来館する学校の学習目的に合わせ、展示室の見学とワークショップ・フィールドワークを組み合わせた博学連携プログラムを実施しました。展示室見学では、学芸員のガイドで展示室内を見学、ワークショップ・フィールドワークでは、本庄の歴史や展示物をより深く知るためのプログラムとして、市内の遺跡から出土した本物の土器や埴輪に直接触れる体験（ハンズオン）や拓本体験、勾玉や埴輪づくり、史跡めぐりを実施しました。

- 3 子どもたちの知的好奇心を喚起し、郷土学習をはじめ、何かを学ぶことや深く知ることの面白さを体感できる環境を創出する

B ある程度できている

勾玉や埴輪等を製作するワークショップを定期開催し、展示物に対する関心を高めたり、展示物をより身近に感じてもらう機会を創出しました。ワークショップでは、製作するだけでなく、当時の製作意図や資材の流通、当時の製作技術など学びを交えながら実施し、関心を持った子どもたちがより興味を深められるよう工夫しました。また、夏休み期間には、小学生向けのミニ企画展及び講座を開催し、郷土学習や歴史学習への関心を喚起するとともに郷土愛醸成の一助とする機会を創出しました。

- 4 実際に見て、触れることができる実物資料を活用した学習環境をつくるほか、多彩な体験学

習の機会を設け、体感的な歴史学習を推進する

B ある程度できている

学校の団体見学時や出前授業においては、新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで、本物の資料に直接触れる機会を設け、児童が学習内容を体感的に理解できるよう学校と連携し、事業を実施しました。

- 5 幅広い利用者に対応し、障害のある方や乳幼児連れの家族でも気兼ねなく過ごせる環境づくりを行う

B ある程度できている

障害の有無に関わらず、来館者が鑑賞しやすい環境整備を推進しました。令和2年度には低身長の幼児・児童でも展示物が見やすくなるよう踏み台を設置したほか、令和3年度には館内で放映している映像コンテンツに手話通訳を追加し、ろう者の鑑賞環境を改善しました。障害のある方の団体見学も受け入れており、障害に応じた展示解説等を実施しました。また、5月5日のこどもの日を含む5日間をキッズデーとし、子どもたちが当館に訪れ、楽しんでもらうきっかけづくりとして、未就学児でも楽しめるワークショップを開催しました。

- 6 前山1号墳や宍勝寺裏埴輪窯跡など貴重な遺跡が所在する恵まれた立地環境を生かし、大久保山・浅見山丘陵全体を博物館として活用する

B ある程度できている

フィールドワークを開催し、普段は見過ごしてしまっている風景の中にも歴史が息づいていることを体感し、現地でしか得られない経験を通して、地域や歴史に対する興味、関心を高める機会を創出しました。

- 7 生涯学習や文化推進の拠点施設として、資料の公開のみならず、情報発信力の高い施設づくりを行う

B ある程度できている

市広報や公式ホームページ、Instagramを通じて、当館の展覧会やワークショップ等の開催情報をはじめ、本庄市の歴史や文化財施設に関する情報等を広く情報発信しました。勾玉づくりをはじめとするワークショップや専門分野の最前線で活躍する研究者を講師に迎えた講演会、小学生を対象とした講座など、開催したイベントの多くが満員となり、参加者から高い満足度を得ています。今後も参加者のニーズを把握しながら、事業の充実を図ることで、情報発信力を高めていきます。また、新聞やテレビ等のメディアや旅行会社等への働きかけも積極的に行うことで、当館やその活動を知ってもらう機会の創出にも努めていきます。

- 8 本庄市と早稲田大学が所蔵する資料を積極的に公開し、研究者や市民の主体的な調査研究をサポートする

B ある程度できている

特別利用やレファレンス等を通じて、研究者や市民による調査研究を支援しました。早稲田大学展示室では、企画展や講演会を通じて、身近に世界の文化に触れることができる貴重な機会を創出しました。

- 9 本庄市と早稲田大学が協働し、先端的な調査、研究を推進するとともに、研究者や研究団体の活動に協力し、その成果を展示、学習の場に生かす

C あまりできていない

本庄市と早稲田大学が協働した調査・研究の機会の推進が今後の課題です。調査・研究の成果を展示や学習の場に生かすことができるよう協議を継続していきます。

(評価区分)

A 十分できている B ある程度できている C あまりできていない
D できていない Z その他

< A > 館長・館の経営責任について

A01 館と設置者の間の連絡調整を定期的に行っている。

目標値 定期開催する

A 十分できている

実施している。また、共同運営する早稲田大学の担当課（文化推進部文化企画課）と会議を定期的（月1回）に開催している。

A02 館の使命（設置目的や基本理念）をわかりやすい言葉で明文化している。

目標値 明文化する

A 十分できている

本庄早稲田の杜ミュージアムの設置及び管理に関する条例（令和2年本庄市条例第4号）第1条において設置目的を明示しているほか、平易な表現でも明文化している。また、当館のめざす姿と取り組みも明文化している。

A03 館の使命（設置目的や基本理念）を来館者用リーフレット、ホームページ、広報誌などに掲載している。

目標値 掲載する

A 十分できている

ミュージアム入口、来館者用リーフレット及びホームページに掲載している。また、当館のめざす姿と取り組みは年報に掲載している。

A04 館長の身分は、常勤である。

目標値 常勤職員を配置する

A 十分できている

文化財保護課長が兼務しており、常勤である。

A05 館長は、人事（上申権の場合も含む）・財務・事業など、館の経営全般にわたる権限を有している。

目標値 権限を有する職員を配置する

A 十分できている

文化財保護課長が兼務しているため、全権ではないが権限を有している。

A06 館の事業や業務に関して、意思決定のための会議を定期的に行っている。

目標値 定期開催する

A 十分できている

係内・課内会議をはじめ、共同運営する早稲田大学の担当課（文化推進部文化企画課）と会議を定期的（月1回）に開催している。

A07 館として中長期的な経営目標（設置者が認知・了解しているもの）を定めている。

目標値 策定する

B ある程度できている

文化財保護課の一事業として、「本庄市総合振興計画（実施計画）」を策定しているが、当館として中長期的な計画策定も必要であると考えている。

A08 経営目標を達成するために年度毎の経営計画を立てている。

目標値 策定する

B ある程度できている

文化財保護課の一事業として、「本庄市総合振興計画（実施計画）」を策定しているが、当館として年度毎の経営計画（運営計画）の策定も必要であると考えている。

A09 事業面、管理運営面など全般にわたる自己評価を実施している。

目標値 実施する

B ある程度できている ※一部実施中

文化財保護課の一事業として、「教育委員会の事務の管理及び執行に関する点検評価報告書」を作成しており、自己評価を実施しているほか、当館として自己点検評価を実施している。

A10 事業面、管理運営面など全般にわたる外部評価を実施している。

目標値 実施する

B ある程度できている ※実施中

本庄早稲田の杜ミュージアム運営委員会において審議する。

A11 中長期の財務計画を策定している。

目標値 策定する

A 十分できている

文化財保護課の一事業として、「本庄市総合振興計画（実施計画）」を策定している。

A12 自己収入額、自己収入比率の少なくともどちらか一方について目標を設定している。

目標値 歳入予算を計上する

B ある程度できている

歳入予算を計上しているが、実績に基づく目標設定である。

A13 館の活動に関する法令・条約・倫理規程をすぐに参照できる場所に置いている。

目標値 設置する

A 十分できている

例規管理システムを活用しているほか、本庄早稲田の杜ミュージアムの設置及び管理に関する条例、同施行規則は閲覧用を用意している。

A14 年報、要覧やインターネットを通して、事業実績や目標の達成状況、財務など、館の運営状況を公開している。

目標値 公開する

B ある程度できている

財務については、決算書及び決算に係る主要な施策の実績報告書として公開している。また、当館の事業実績等は年報として公開を予定している。

A15 職員の志気を向上させるために、目標管理、提案制度、報奨制度、自己申告制度などの仕組みを設けている。

目標値 設けている

B ある程度できている

本庄市として人事評価制度を導入している。

利用者・市民・地域との関係について

B01 館として、広報宣伝計画を策定している。

目標値 策定する

B ある程度できている

広報計画を策定し、市広報への掲載、市長定例記者発表での情報提供を実施している。

B02 館のホームページを開設し、掲載内容を適時・適切に更新できる体制をとっている。

目標値 体制をとる

A 十分できている

館のホームページを開設し、適宜更新することで最新の情報を提供している。

B03 館の広報誌（ニュース・レターなど）を発行している。

目標値 発行する

D できていない

館の広報誌は発行していないが、市広報誌をはじめ、HP、Instagramで情報発信している。

B04 来館者の実態や来館者数の動向を把握するための調査を実施している。

目標値 実施する

B ある程度できている

来館者数調査を行っている。

B05 来館者数に目標を立てている。

目標値 設定する

A 十分できている

「本庄市総合振興計画」における成果指標及び「本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価指標として設定している。

B06 館の利用実態や動向、利用のニーズを知るために、館利用に関するアンケートやモニター調査を実施している。

目標値 実施する

B ある程度できている

イベント参加者に対しアンケート調査を実施し、来館者のニーズの把握に努めている。

B07 高齢者に対する配慮として、入館料の割引（無料を含む）を実施している。

目標値 実施する

A 十分できている

入館料は無料である。

B08 障害者に対する配慮として、入館料の割引（無料を含む）を実施している。

目標値 実施する

A 十分できている

入館料は無料である。

B09 「友の会」を設置している。

目標値 開館時点では設置の予定なし

Z その他

設置していない。

B10 「ボランティア制度」を導入している。

目標値 開館時点では設置の予定なし

Z その他

導入していない。

B11 サークル、NPOなどに関わるなかで、市民が館の事業に参画する機会を設けている。

目標値 開館時点では予定なし

Z その他

設けていない。

B12 「博物館協議会」などを通じて市民に、館の運営に参画してもらっている。

目標値 運営委員会は設置するが開館時点では公募委員の参画予定なし

B ある程度できている

運営委員会を設置し、学校教育や社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者から意見をもらっている。

B13 地域と連携するための方針・計画を、館として策定している。

目標値 策定する

A 十分できている

「本市市総合振興計画（実施計画）」において、地域文化の拠点として位置づけており、近隣市町との連携事業を実施している。

B14 地元の企業・団体（商工会、商工会議所など）と協賛・協力し、事業を実施している。

目標値 実施する

B ある程度できている

企画展のポスター掲示やチラシの配架に協力してもらっている。

<C> 展示について

C01 展示方針を策定し、計画的に展示を行っている。

目標値 実施する

B ある程度できている

実施している。

C02 常設展示は定期的に更新している。

目標値 更新する

B ある程度できている

令和3年度は弓形埴輪の公開を実施し、更新しているが、さらなる取り組みが必要であると考えている。

C03 アンケートを実施するなどして、観覧者の満足度を把握している。

目標値 把握する

D できていない

展示に対しては実施していないため、今後実施を検討する。

C04 展示について、観覧者数の目標を設けている。

目標値 設定する

A 十分できている

「本庄市総合振興計画」における成果指標及び「本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価指標として設定している。

C05 展示図録やガイドブックを作成・配布（販売）している。

目標値 販売する

A 十分できている

常設展示図録を販売している。

C06 館の専門スタッフ（学芸員など）による展示の案内・解説を、曜日や時間を決めて定期的に実施している。

目標値 新型コロナウイルス感染症の状況により判断する

C あまりできていない

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、最小限の実施とし、個別に対応している。

C07 ボランティアによる展示の案内・解説を、曜日や時間を決めて定期的に実施している。

目標値 開館時点では予定なし

Z その他

実施していない。

C08 館内の案内表示を外国語で行ったり、外国語による案内パンフレットを作成したり、外国人向けの館内案内を行っている。

目標値 対応する

B ある程度できている

館内配布のパンフレットに英語を併記しているほか、館内で放映している映像に英語版がある。

C09 特別展・企画展の図録を刊行している。

目標値 刊行予定なし

Z その他

本庄早稲田の杜地域連携展覧会では小冊子を作成し無料配布した。図録は、早稲田大学會津八一記念博物館の巡回展のみ有償頒布している。

C10 参加体験型の展示を導入している。

目標値 新型コロナウイルス感染症の状況により判断する

B ある程度できている

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、常設展示はしていないが、個別にハンズオンを実施している。

C11 展示室内に看視員や監視カメラを配置している。

目標値 設置する

A 十分できている

設置している。

C12 展示品の点検を曜日や時間を決めて定期的に行っている。

目標値 実施する

A 十分できている

展示ケースの清掃と併せて実施している。

C13 展示品の展示環境について温湿度や光量を管理している。

目標値 必要に応じて管理する

B ある程度できている

必要に応じて管理している。

C14 展示機器を定期的に点検するとともに、故障があった場合に迅速・適切に対応できる体制を整えている。

目標値 整える

A 十分できている

整えている。

C15 特別展・企画展などの記録・報告書を作成している。

目標値 年報（館報）として作成する

B ある程度できている

年報としてまとめている。

<D>教育普及について

D01 教育普及活動を、策定した方針のもとに計画的に行っている。

目標値 計画的に実施する

B ある程度できている

年間計画に基づき実施している。

D02 アンケートを実施するなどして、教育普及活動への参加者の満足度を把握している。

目標値 把握する

A 十分できている

把握しており、結果は年報にまとめている。

D03 教育普及活動について参加者数の目標を設けている。

目標値 設定する

A 十分できている

設けている。

D04 質問・相談・問い合わせの窓口を利用者に向けてははっきり示している。

目標値 明示する

A 十分できている

問い合わせ先を公開している。

D05 来館しないでも質問・相談・問い合わせのできる体制（電話・ファックス、手紙、インターネットの活用など）を整えている。

目標値 整える

A 十分できている

電話番号・ファックス番号、住所、メールアドレスを公開し、いずれの方法においても質問等を受け付け、対応している。

D06 博物館の利用方法についての講座、学芸員の仕事を体験する講座、バックヤードツアーなど、館の利用を支援する教育普及活動を実施している。

目標値 実施する

A 十分できている

実施している。

D07 来館者用の図書・情報コーナー（室）を設けている。

目標値 設置する

B ある程度できている

交流ひろばに来館者が自由に閲覧可能な図書コーナーを設けている。

D08 出張・移動活動（アウトリーチ活動）を行っている。

目標値 実施する

B ある程度できている

市内の学校向けに出前授業を実施している。

D09 学校の利用に備えて、プログラムを準備したりスタッフを用意したりしている。

目標値 対応する

A 十分できている

博学連携プログラムを作成し、対応している。

D10 団体利用の児童・生徒に対して、館としてオリエンテーションを行っている。

目標値 実施する

A 十分できている

導入として実施している。

D11 学校の教員向けの利用説明会や研修会を行っている。

目標値 実施する

B ある程度できている

校長会や初任・転任者向け研修会の機会を利用し、博学連携プログラムの案内を行っている。

D12 博物館実習の実習生を受け入れている。

目標値 受け入れる

D できていない

令和2年度・令和3年度はできなかったが、令和4年度より受け入れ予定である。

D13 インターンシップの学生を受け入れている。

目標値 市の受け入れに協力する

A 十分できている

本庄市での受け入れに協力している。令和3年度は1名を受け入れた。

D14 教育普及活動に関して活動の記録を作成している。

目標値 年報（館報）として作成する

A 十分できている

年報としてまとめている。

<E>学芸員・一般職員について

E01 常勤の学芸員が配置されている。

目標値 配置する

A 十分できている

令和2年度は3名（正規職員3名）、令和3年度は4名（正規職員2名・会計年度任用職員2名）配置している。

E02 学芸員を専門職として採用している。

目標値 会計年度任用職員として採用する

B ある程度できている

本庄市の正規職員としては専門職として採用していないが、令和3年度から会計年度任用職員は学芸員を専門職として採用している。

E03 学芸に関わる職員の採用にあたって学芸員資格を要件としている。

目標値 要件とする

B ある程度できている

会計年度任用職員の採用にあたっては要件としている。

E04 学芸員について、人事異動や人事交流を行っている。

目標値 開館時点では予定なし

Z その他

本庄市の正規職員は一般事務職のみのため人事異動はあるが、学芸員としてではない。

E05 学芸員を幹部職員（館長、副館長、部課長）に登用している。

目標値 開館時点では予定なし

Z その他

登用していない。

E06 他館や他機関が主催する研修に、学芸員を派遣・参加させている。

目標値 参加させる

A 十分できている

学芸員に限らず、参加している。

E07 学会の大会や他館・他機関主催の研究会に学芸員が参加することを、館の業務として認めている。

目標値 認める（個人加入の学会等は除く）

B ある程度できている

学芸員に限らず参加を認めているが、市の業務として認められる範囲に限られる。個人で加入している学会等の大会は原則認めていない。

E08 展示や教育普及、調査研究、保存など学芸員の活動の成果を、館として、刊行物等で公開している。

目標値 公開する

B ある程度できている

年報及び調査研究報告での公開を予定している。

E09 学芸系の職員のほかに常勤の職員が配置されている。

目標値 配置する

A 十分できている

令和2年度は4名（正規職員2名・会計年度任用職員2名）、令和3年度は3名（正規職員2名・会計年度任用職員1名）配置している。

E10 学芸系ではない職員を対象にした研修を、館として実施している。

目標値 実施する

B ある程度できている

適宜実施している。

< F > 調査研究について

F01 館として、調査研究の方針・計画を策定している。

目標値 策定する

B ある程度できている

調査研究の方針は策定している。

F02 調査研究のための予算措置を行っている。

目標値 必要経費を予算措置する ⇒達成

B ある程度できている

専門誌・専門書の購入費用及び調査研究報告の印刷製本費用を計上している。

F03 館として専門誌・専門書を購入したり機材・器具を設備したり、調査研究を進めるため

の環境整備を行っている。

目標値 実施する

C あまりできていない

専門誌・専門書の購入費用を予算措置しているが、十分な活用が図れていないため、今後整備を進めたい。

F04 学芸系職員の勤務時間・職務内容について、調査研究の遂行のための配慮を加えている。

目標値 配慮する

B ある程度できている

配慮している。

F05 収集している資料と関連する学問分野について、調査研究に取り組んでいる。

目標値 取り組む

A 十分できている

取り組んでいる。

F06 資料の管理・修復・保存・展示・教育普及活動の理論や方法、博物館経営など、博物館学分野での調査研究に取り組んでいる。

目標値 取り組む

C あまりできていない

教育普及活動の方法など一部取り組みを始めている。

F07 地域への貢献を視野に、館が所在する地域や地域の資料について、調査研究に取り組んでいる。

目標値 取り組む

B ある程度できている

取り組んでいる。

F08 調査研究の経過・成果を紀要や報告書などで外部に公表している。

目標値 公表する

A 十分できている

調査研究報告として刊行している。

F09 他館や他研究機関と共同研究を行っている。

目標値 実施する

D できていない

共同運営する早稲田大学や近隣市町と連携した展示事業は実施しているが、共同研究については今後の課題と認識している。

<G> 資料・コレクションについて

G01 館として資料収集の方針を策定している。

目標値 策定する

D できていない

策定していないため、適宜対応している。

G02 法令、条約、倫理規程などを遵守して資料収集するために、館としてガイドラインを策定している。

目標値 策定する

D できていない

策定していないため、適宜対応している。

G03 資料の出所・来歴の妥当性、真贋などの検討を外部の専門家を含めて行い、その助言を得て資料の購入・受入れを決定している。

目標値 必要に応じて対応する

B ある程度できている

必要に応じて、専門家の意見を聴取している。

G04 収集した資料のうちの7割以上を資料台帳に登録している。

目標値 登録する

A 十分できている

登録している。

G05 収蔵資料のうちの7割以上について資料情報を記録している。

目標値 記録する

A 十分できている

登録している。

G06 収蔵資料のうちの7割以上の資料について所在を正確に確認できている。

目標値 確認する

A 十分できている

確認できている。

G07 未整理資料について整理の計画を立てている。

目標値 策定する

B ある程度できている

現在策定を進めている。

G08 温湿度・光量の管理が必要な資料のうちの半分以上の資料について、必要とされる管理を行っている。

目標値 可能な範囲において適切に管理する

B ある程度できている

収蔵スペースには限りがあるため、全ての資料を温湿度・光量の管理のできる環境下に収蔵することはできないが、できる範囲において保存環境の改善に努めている。

G09 総合的有害生物管理（IPM）の考え方にに基づき、日常的に虫菌害の予防措置をとっている。

目標値 必要な措置を行う

B ある程度できている

年間を通じてモニタリング調査を実施し、適宜必要な措置をとっている。

G10 少なくとも主要な資料については、定期的に資料の状態に関する点検を行っている。

目標値 実施する

A 十分できている

定期的に点検している。

G11 資料の修復を計画的あるいは必要に応じて行っている。

目標値 必要に応じて実施する

A 十分できている

必要に応じて行っている。

G12 収蔵資料の7割以上を記載した資料目録を整備している。

目標値 整備する

A 十分できている

整備している。

G13 資料目録を公開している。

目標値 公開方法を検討する

C あまりできていない

今後検討を進める。

G14 資料目録の7割以上をデジタル化している。

目標値 デジタル化する

A 十分できている

デジタル化している。

G15 資料情報の追加・更新を、適宜、あるいは定期的に行っている。

目標値 適宜実施する

A 十分できている

適宜行っている。

G16 資料の貸出しを認めると同時に、規定・手続きを整備している。

目標値 整備する

A 十分できている

本庄早稲田の杜ミュージアムの設置及び管理に関する条例、同施行規則に規定している。

<H>施設・アメニティーについて

H01 施設の維持・改善について中長期計画を策定している。

目標値 設定なし

Z その他

使用貸借物件のため、施設の維持・改善について計画策定はしていないが、必要に応じて、施設所有者に要望を提出している。

H02 最低限、主要な建物については、耐震対策を行っている。

目標値 設定なし

Z その他

当館は使用貸借物件であるため目標設定は行わないが、耐震対策は行われている。

H03 展示室や収蔵庫など建物内の設備について、何らかの耐震対策を行っている。

目標値 設定なし

Z その他

当館は使用貸借物件であるため目標設定は行わないが、耐震対策は行われている。

H04 危機管理マニュアルを整備している。

目標値 整備する

B ある程度できている

本庄市として事故等対応マニュアルを作成している。

H05 防災・防犯・救急・救命訓練を定期的実施している。

目標値 実施する

B ある程度できている

防災訓練、救命講習を定期的実施している。

H06 不慮の事故などに備えて保険に加入している。

目標値 加入する

B ある程度できている

本庄市として加入している。

H07 バリアフリー化について、改善が必要な個所を把握するための自己点検を実施している。

目標値 実施する

B ある程度できている

実施している。

H08 案内表示に関して、できる個所から、または計画的に改善を行っている。

目標値 実施する

B ある程度できている

施設所有者に要望を提出し、改善に努めている。

H09 来館者の動線に関して目視調査などによって現状を把握し、必要な改善を行っている。

目標値 実施する

B ある程度できている

適宜改善を行っている。

H10 来館者用の駐車場を、一般来館者用、障害者用、ともに用意している。

目標値 用意する

A 十分できている

用意している。

H11 休憩コーナーを設置している。

目標値 設置する

B ある程度できている

館内に休憩用の椅子を設置しているほか、館外の共用スペースにも設置されている。

H12 喫茶コーナー・レストランを設置している。

目標値 館内に設定予定なし

Z その他

館内に設置予定はないが、館外の共用スペースに自動販売機コーナーが設置されている。

H13 展示図録やガイドブック、教材など、館の活動を、直接、案内・紹介する物品を販売している。

目標値 販売する

B ある程度できている

常設展示図録を販売している。

H14 館が開発したオリジナル商品を販売している。

目標値 販売する

A 十分できている

販売している。

H15 利用実態に応じて開館時間を延長したり夜間開館を行ったり、開館時間の設定の見直しを行っている。

目標値 必要に応じて実施する

A 十分できている

必要に応じて開館時間の延長を実施している。令和2年度は1回（開館日当日）、令和3年度は2回（開館1周年記念講演会当日）、開館時間の延長を行った。

H16 接遇のための職員研修（委託業者職員の研修を含む）を、必要に応じて、あるいは定期的実施している。

目標値 開館時点では予定なし

Z その他

実施していない。

H17 利用者からの苦情や要望への対応手順を定めている。

目標値 定める

B ある程度できている

本庄市の対応手順に倣い対応している。